

住宅関連分野での取組を強化

新たに「家財総合保険」販売

さくら損保 25年3月期決算が好調

さくら損保の2025年度3月期決算は、正味収入保険料91億4700万円(対前期比26・6%増)、経常利益24億4800万円(対前期比44・3%)と好調な結果となった。スマートフォン等の修理代等を補償する主力商品の「通信端末修理費用保険」に加え、昨年7月から発売した「家電・住宅設備・什器備品費用保険」の販売も好調。また、昨年12月には、賃貸物件を対象とした「家財総合保険」を新たにリリースした。個々の消費者に販売するのではなく、関連事業者の提供するサービスに付帯して保険に加入してもらうBtoB戦略が奏功している。同分野での加入者数の増加を受けて、同社では組織の拡大を図っていく考えだ。

「家財総合保険」は、費用などを補償する。主に、賃貸居住者に必要な補償をセッティングした商品で、火災、落電、破裂・爆発、風災・ひょう災・雪災、水災、給排水設備等からの水漏れなどによる家財の損害をカバーするほか、貸主への賠償責任(借家人賠償責任)、第三者に対する賠償責任(個人賠償責任)、また、失火見舞費用や臨時保証会社などにも推進し

BtoB戦略が奏功、加入者数増加で組織拡大へ

「住まいの駆けつけサービス」に付帯する備・什器備品などが損壊や電気の故障、水漏れ等によって修理・交換した場合の費用を補償する商

品で、対象機器の販売・サービス提供事業者が契約者になる。同社の親会社である光通信グループの顧客基盤やネットワークを活用することで実績を伸ばしている。

同社はもとより、2019年からiPhoneなどスマートフォンなどの事故等による損害を補償する「通信端末修理費用保険」を、通信事業を本業とする光通信グループのネットワークを通じて販売し、同分野のり

事業者を契約者に、その顧客を被保険者とするいわゆるBtoBのビジネスモデルに特化すること。光通信グループは通信事業や金融事業以外の事業も拡大しており、さくら損保では今後、グループネットワークを活用した同様の商品展開を検討していく。

また、同社では住宅関連分野での加入者数の急増を受けて、組織の拡大を急いでいる。これまでは光通信グループから営業部門に転籍する社員も

多かったが、今後は新たな分野の開拓や内務部門の強化のために、保険業界での経験が豊富な人材を増やして組織体制の拡充を図っていく。

同社の小松義彦社長は「当社は大手とは異なり、小さなマーケットをターゲットにするフットワークの軽い組織であり、意思決定も早く社内

の風通しもいい。これらの事業運営を見据えて身の丈に合った組織の拡大を図っていく」と思っており、こうしたビジネスを面白いと思ってくれる人がいればぜひ一緒に仕事をしたい」としている。



家財総合保険のチラシ

アイペット損保

2024年度使用電力

実質100%再エネ化

アイペット損保は6月30日、2024年度の電力使用に伴う温室効果ガス削減率を発表した。再生可能エネルギー100%再生可能エネルギー(以下、再生エネ)へと切り替えたことを発表した。

同社は、ペット保険の提供を通じて「ペットと人が共に健康やかに暮らせる社会」の実現を目指す。国内すべての拠点における使用電力を100%再生可能エネルギー(以下、再生エネ)へと切り替えたことを発表した。

同社は、ペット保険の提供を通じて「ペットと人が共に健康やかに暮らせる社会」の実現を目指す。国内すべての拠点における使用電力を100%再生可能エネルギー(以下、再生エネ)へと切り替えたことを発表した。

同社は、ペット保険の提供を通じて「ペットと人が共に健康やかに暮らせる社会」の実現を目指す。国内すべての拠点における使用電力を100%再生可能エネルギー(以下、再生エネ)へと切り替えたことを発表した。

再生エネへの切り替えにあたっては、「トラッキング付きFIT非化石証明書」を活用。本証明書は、非化石電源由来の電力に付加される環境価値を証書化したもので、発電された電源の種類や産地などの情報を明確に特定できる仕組みで、再生可能エネルギーの普及を目的とする「固定価格買取制度(FIT)」の対象電源を含むものであり、環境への配慮と電源の透明性を両立するものとなっている。

同社は、ペット保険の提供を通じて「ペットと人が共に健康やかに暮らせる社会」の実現を目指す。国内すべての拠点における使用電力を100%再生可能エネルギー(以下、再生エネ)へと切り替えたことを発表した。

同社は、ペット保険の提供を通じて「ペットと人が共に健康やかに暮らせる社会」の実現を目指す。国内すべての拠点における使用電力を100%再生可能エネルギー(以下、再生エネ)へと切り替えたことを発表した。

T&Dフィナンシャル生命

生涯プレミアムジャパンシリーズ

電話による解約受付を開始

T&Dフィナンシャル生命は6月30日から、生涯プレミアムジャパンシリーズの契約者へ電話のうえ、解約の希望を伝えることで解約の手続きを完了することができるようになった。対象となる商品等は、①生涯プレミアムジャパン(証券番号「033」で始まる契約)②生涯プレミアムジャパン2(証券番号「085」で始まる契約)③生涯プレミアムジャパン3(証券番号「144」で始まる契約)④生涯プレミアムジャパン4(証券番号「165」で始まる契約)である。

解約の手続きは、先ず解約申込書の提出が必要となる。確定保険金額の払戻金を受け取る。解約の手続きは、先ず解約申込書の提出が必要となる。確定保険金額の払戻金を受け取る。

解約の手続きは、先ず解約申込書の提出が必要となる。確定保険金額の払戻金を受け取る。解約の手続きは、先ず解約申込書の提出が必要となる。確定保険金額の払戻金を受け取る。

大同生命

南海トラフ地震と経営者が知っておくべき防災対策

8月6日にシンポジウム開催

大同生命は8月6日、シンポジウム「その備えが中小企業の未来を変える」を開催する。南海トラフ地震と経営者が知っておくべき防災対策をテーマに、中小企業が南海トラフ地震などの大規模災害に備え、乗り越えていくための、過去の大規模災害の経験や防災専門家の知識や経験、被害を最小限に抑えるための取り組みを

講演・パネルディスカッションなどを通してわかりやすく発信する。シンポジウム概要は次の通り。

△日時：8月6日午後3時から5時30分
△開催場所：会場はTODA HALL(東京都中央区京橋1丁目7-1 TODAビル)

講演・パネルディスカッションなどを通してわかりやすく発信する。シンポジウム概要は次の通り。

講演・パネルディスカッションなどを通してわかりやすく発信する。シンポジウム概要は次の通り。

講演・パネルディスカッションなどを通してわかりやすく発信する。シンポジウム概要は次の通り。

講演・パネルディスカッションなどを通してわかりやすく発信する。シンポジウム概要は次の通り。

講演・パネルディスカッションなどを通してわかりやすく発信する。シンポジウム概要は次の通り。

医師と損保のための分かりやすい 整形外科編
交通事故外傷ガイドQ&A
東京女子医科大学整形外科 前主任教授 加藤 義治
交通事故による人身傷害に関わる
損害賠償・補償に役立つ外傷医療の
必須知識を平易に解説し、
医療処置と損保実務を
架橋するガイド本
ISBN978-4-89293-476-6
●B5判・206頁
●定価4,180円(税込)／送料660円(税込) (2024年3月刊)
お申込みはFAXまたはWEBで
FAX03-5816-2863
https://www.homai.co.jp/
保険毎日新聞社
東京都台東区台東4-14-8
シモンパークビル2F
TEL03-5816-2861